

1. 2014 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	9,071	90.7	
支出	12,334	89.4	
経常収支差額	-3,263	86.0	



評価：元々自宅で過ごしていた方が多く、つみき入学後も通所でできていない現状稼働率が上がらなかった。家庭訪問や相談支援事業所、ヘルパー事業所と参加にむけて連携した。しかし、参加にいたっていない。現在利用契約者は 6 名。

② 職員配置と研修（職員数は 2015 年 1 月現在）

主担の職員が 1 名とじらふヘルパーとの兼務の職員が 1 名、パート 1 名（登録 3 名）、運転手 1 名で事業を行った。は固定パートの経験値を増やすために、じらふデイサービスに現場実習を行っている。つみきで大切にしている「視覚的・具体的・肯定的」を職員で共通理解する為、自部門で勉強会を開催している。

③ 事業内容

2014 年 4 月につみきがスタート。新卒の方 2 名含む 6 名の方が入学された。
 大阪に学ぶ場としての生活訓練事業は 4 箇所あり、事業所連携として合同企画を行い、つみきメンバーも舞台発表など行った。調理、買い物、洗濯、話し合い、室内清掃、ダンスを日々のスケジュールとして行っている。経験をつみ、自分のしたい事を表現できる。またしたくない事も伝えられるように支援をしています。外出企画も職員だけで準備せずにメンバーさんと交通経路を決めるなどしている。USJ、初詣に伏見稻荷、花見、コリアンタウン、プロ野球観戦などの外出経験を行った。
 つみきを知ってもらう為に、特別支援学校の実習受け入れ、見学受け入れを率先して行う。引き続き、受け入れを行う。

④ 品質管理

ひやりはっとして：時期によって学生さんが靴下をトイレに流すというこだわりがあり、家族さんと情報共有しつつ支援を進めるが、靴下流しが 2 回あった。
 2014 年度は事故なく事業を進めることができたが、引き続き、会議でひやりした状況など情報共有しながら事故ないように進めていく。

2.. 2015 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	19,478	↗	6名の新入生が入学するため収入があがる
支出	18,919	↗	常勤職員1名採用、プロジェクター、畳、机、折りたたみイス

②主課題

- ・メンバーさんが大幅に増えるので、つみきの構造化を進めて、誰もが活動しやすい環境をつくる。
- ・2年生の進路先探しを特別支援学校の進路の先生と連携し、進める。
- ・他事業所との連携を引き続き行い、つみきの企画などに活かす。
- ・職員配置で1名常勤が増えるので、稼働率をあげる。

② 年間事業計画(予定)

4月	入学式	11月	卒業旅行
5月		12月	
6月		1月	おおさか学びの場交流会(23日)
7月		2月	
8月		3月	卒業式
9月	お話を聞く会		
10月	おおさか学びの場合合同宿泊学習(15~16)		